

2022年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年5月12日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所 東
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押見 正雄
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己 (TEL) 03-6823-6853
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第2四半期の連結業績(2021年10月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第2四半期	1,312	△10.3	44	△75.4	56	△68.7	11	△89.7
2021年9月期第2四半期	1,462	44.9	179	19.7	179	18.9	114	5.4

(注) 包括利益 2022年9月期第2四半期 42百万円(△68.0%) 2021年9月期第2四半期 133百万円(22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年9月期第2四半期	円 銭 2.17	円 銭 —
2021年9月期第2四半期	21.14	21.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年9月期第2四半期	百万円 5,362	百万円 3,895	% 72.1
2021年9月期	5,532	3,961	71.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第2四半期 3,864百万円 2021年9月期 3,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年9月期	円 銭 —	0.00	円 銭 —	円 銭 20.0	円 銭 20.0
2022年9月期	—	0.00			
2022年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年9月期期末配当金の内訳 記念配当 20円00銭

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150	8.9	317	11.4	317	△5.6	228	14.4	41.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年9月期2Q	5,578,150株	2021年9月期	5,578,150株
2022年9月期2Q	121,356株	2021年9月期	121,315株
2022年9月期2Q	5,456,807株	2021年9月期2Q	5,431,216株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の要因に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症や資源価格上昇の影響などから一部に弱めの動きがみられ、業況感もこのところ改善が一服しているものの、企業収益は全体として改善しており、基調としては持ち直してきております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響によりライフスタイルが大きく変容し、ビデオチャットなどオンラインコミュニケーションツールが爆発的に普及しております。また、バーチャルイベントやライブ配信も増加し、メタバースと呼ばれる仮想空間が注目を集めるなど、音声・映像を活用したオンラインサービスは新しい潮流が生まれてきております。

これらの状況下、当社グループは、リアルタイムコミュニケーションプラットフォーム「CRI TeleXus（シーアールアイ テレックス）」の開発を行うとともに、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,312,138千円（前年同期比10.3%減）、営業利益44,100千円（前年同期比75.4%減）、経常利益56,171千円（前年同期比68.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,881千円（前年同期比89.7%減）となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」等のライセンス売上は、前期からスライドした大手顧客からの一括ライセンス契約を受注したことにより増加いたしました。一方、海外向けは、中国におけるゲーム規制の影響で当第2四半期において減少に転じました。株式会社ツーファイブが行う音響制作は、予定していた案件が下期へスライドしたこと等により減少いたしました。株式会社アールフォース・エンターテインメントが行うゲーム開発/運営は、運営中のアプリ売上が想定を下回ったことに加え、新規案件を受注できなかったことにより減少いたしました。当セグメントの売上高は997,978千円（前年同期比12.2%減）、セグメント利益は85,340千円（前年同期比56.2%減）となりました。

② エンタープライズ事業

組込み分野は、モビリティにおいてメーターサウンド関連のライセンス売上やメーターGUI関連の開発案件が好調に推移したものの、ネットワーク組込みシステム開発案件の縮小により減少いたしました。新規分野は、前年同期にあったデジタル展示会プラットフォーム「CRI DXExpo（シーアールアイ ディーエックスエキスポ）」の大口売上がなくなったこと等により減少いたしました。当セグメントの売上高は314,159千円（前年同期比3.7%減）、セグメント損失は41,239千円（前年同期は15,491千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて170,082千円減少し、5,362,228千円となりました。これは主に、「現金及び預金」の減少（前連結会計年度末に比べて312,603千円の減少）及び「売掛金及び契約資産」の減少（前連結会計年度末に比べて100,812千円の減少）があった一方、「仕掛品」の増加（前連結会計年度末に比べて17,854千円の増加）及び「建物」の増加（前連結会計年度末に比べて93,349千円の増加）及び「工具、器具及び備品」の増加（前連結会計年度末に比べて45,897千円の増加）並びに「ソフトウェア」の増加（前連結会計年度末に比べて111,123千円の増加）によるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて103,578千円減少し、1,467,003千円となりました。これは主に、「買掛金」の増加（前連結会計年度末に比べて17,108千円の増加）があった一方、「未払法人税等」の減少（前連結会計年度末に比べて34,512千円の減少）及び「その他流動負債」の減少（前連結会計年度末に比べて64,328千円の減少）によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて66,504千円減少し、3,895,225千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上及び配当金の支払いによる「利益剰余

金」の減少（前連結会計年度末に比べて97,255千円の減少）があった一方、「その他有価証券評価差額金」の増加（前連結会計年度末に比べて20,920千円の増加）によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ313,991千円減少し、3,579,563千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は25,385千円（前年同期は305,912千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上35,852千円及び売上債権の減少額109,134千円の資金の増加要因があった一方、法人税等の納付額56,737千円及びその他流動資産の増加額46,312千円並びに役員退職慰労引当金の減少額12,385千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は253,859千円（前年同期は36,077千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出82,596千円及び無形固定資産の取得による支出157,232千円並びに敷金及び保証金の差入による支出13,400千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は96,757千円（前年同期は12,090千円の獲得）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出96,695千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の連結業績予想は、2021年11月11日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,891,477	3,578,874
売掛金及び契約資産	518,960	418,147
商品	4,040	4,181
仕掛品	8,908	26,763
その他	105,068	98,663
貸倒引当金	△492	△52
流動資産合計	4,527,963	4,126,576
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,217	127,453
減価償却累計額	△24,040	△8,927
建物(純額)	25,176	118,525
工具、器具及び備品	82,033	119,589
減価償却累計額	△62,786	△54,443
工具、器具及び備品(純額)	19,247	65,145
建設仮勘定	40,839	—
有形固定資産合計	85,263	183,671
無形固定資産		
ソフトウェア	261,398	372,521
のれん	20,507	17,182
その他	971	—
無形固定資産合計	282,877	389,703
投資その他の資産		
投資有価証券	365,688	386,211
繰延税金資産	60,696	58,999
その他	209,822	217,066
投資その他の資産合計	636,207	662,277
固定資産合計	1,004,348	1,235,652
資産合計	5,532,311	5,362,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,748	76,856
未払法人税等	63,786	29,273
賞与引当金	11,220	—
その他	249,523	185,195
流動負債合計	384,279	291,325
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
退職給付に係る負債	120,905	122,666
役員退職慰労引当金	61,883	49,497
繰延税金負債	3,513	3,513
固定負債合計	1,186,302	1,175,678
負債合計	1,570,582	1,467,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,904	784,904
資本剰余金	825,290	825,290
利益剰余金	2,482,532	2,385,276
自己株式	△167,943	△168,005
株主資本合計	3,924,783	3,827,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,100	29,020
為替換算調整勘定	△773	7,869
その他の包括利益累計額合計	7,326	36,889
新株予約権	11,052	11,052
非支配株主持分	18,566	19,816
純資産合計	3,961,729	3,895,225
負債純資産合計	5,532,311	5,362,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,462,311	1,312,138
売上原価	711,417	642,795
売上総利益	750,894	669,343
販売費及び一般管理費	571,757	625,242
営業利益	179,136	44,100
営業外収益		
受取利息	1,057	774
受取配当金	19	19
為替差益	385	12,671
その他	4,829	4,933
営業外収益合計	6,291	18,398
営業外費用		
事務所移転費用	—	5,935
社債発行費	5,821	—
その他	0	392
営業外費用合計	5,821	6,327
経常利益	179,607	56,171
特別損失		
固定資産除却損	—	20,319
減損損失	13,753	—
特別損失合計	13,753	20,319
税金等調整前四半期純利益	165,853	35,852
法人税、住民税及び事業税	49,271	24,365
法人税等調整額	△1,550	1,696
法人税等合計	47,721	26,062
四半期純利益	118,132	9,790
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,303	△2,090
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,828	11,881

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	118,132	9,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,845	20,920
為替換算調整勘定	5,501	11,984
その他の包括利益合計	15,346	32,904
四半期包括利益	133,479	42,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,346	41,444
非支配株主に係る四半期包括利益	4,132	1,249

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	165,853	35,852
減価償却費	60,320	60,153
減損損失	13,753	—
のれん償却額	3,325	3,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△369	△440
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,007	△11,220
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,463	1,761
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,253	△12,385
売上債権の増減額(△は増加)	65,802	109,134
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,615	△17,994
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△255	△46,312
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,942	17,108
未払費用の増減額(△は減少)	18,020	△30,101
その他の流動負債の増減額(△は減少)	397	△10,203
その他	△18,783	△17,738
小計	299,953	80,937
利息及び配当金の受取額	1,740	1,185
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	4,218	△56,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	305,912	25,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	408	—
有価証券の償還による収入	116,399	—
有形固定資産の取得による支出	△1,485	△82,596
無形固定資産の取得による支出	△78,614	△157,232
保険積立金の積立による支出	△823	△823
敷金及び保証金の差入による支出	—	△13,400
その他	193	193
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,077	△253,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	31,990	—
新株予約権付社債の発行による収入	1,000,000	—
新株予約権付社債の償還による支出	△1,019,900	—
自己株式の取得による支出	—	△61
配当金の支払額	—	△96,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,090	△96,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,077	11,239
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	357,157	△313,991
現金及び現金同等物の期首残高	3,349,968	3,893,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,707,125	3,579,563

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月11日 取締役会	普通株式	109,136	20	2021年9月30日	2021年12月2日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額20円は、設立20周年記念配当であります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。「以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高及び当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、前連結会計年度及び第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,136,221	326,089	1,462,311	1,462,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,136,221	326,089	1,462,311	1,462,311
セグメント利益又は損失(△)	194,628	△15,491	179,136	179,136

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	997,978	314,159	1,312,138	1,312,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	997,978	314,159	1,312,138	1,312,138
セグメント利益又は損失(△)	85,340	△41,239	44,100	44,100

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益の金額に対する影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	21円14銭	2円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	114,828	11,881
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	114,828	11,881
普通株式の期中平均株式数(株)	5,431,216	5,456,807
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益調整後	21円00銭	—
(算定上の基礎)		
親会社株式に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	34,354	—
(うち転換社債(株))	(—)	(—)
(うち新株予約権(株))	(34,354)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当第2四半期連結累計期間は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。